

処理困難物処理促進に向けた検討の進捗について

令和1年3月31日現在の各PCB処理事業所における処理困難物の処理進捗状況。

1. 超大型変圧器及び搬出不可変圧器

現地現物確認により対象物を特定し、令和2年度までに処理完了予定。

	北九州	大阪	豊田	東京	北海道	合計
対象物	0台	5台	0台	26台	1台	32台
処理済み	0台	5台	0台	10台	0台	15台
処理残	0台	0台	0台	16台	1台	17台

【処理実績及び処理予定】

平成26年度 1台（大阪1台）
 平成27年度 1台（大阪1台）
 平成28年度 2台（東京2台）
 平成29年度 4台（大阪1台、東京3台）
 平成30年度 7台（大阪2台、東京5台）
 令和1年度 10台（東京9台、北海道1台）
 令和2年度 7台（東京7台）

2. 大型保管容器及びタンク

現地現物確認により対象物を特定し、令和2年度までに処理完了予定。

	北九州	大阪	豊田	東京	北海道	合計
対象物	0台	0台	15台	5台	6台	26台
処理済み	0台	0台	6台	3台	1台	10台
処理残	0台	0台	9台	2台	5台	16台

【処理実績及び処理予定】

平成26年度 0台
 平成27年度 0台
 平成28年度 1台（北海道1台）
 平成29年度 7台（豊田6台、東京1台）
 平成30年度 2台（東京2台）
 令和1年度 5台（北海道5台）
 令和2年度 11台（豊田9台、東京2台）

3. 密閉容器内保管漏洩変圧器

現地現物確認により対象物を特定し、令和2年度までに処理完了予定。

	北九州	大阪	豊田	東京	北海道	合計
対象物	0台	2台	2台	50台	6台	60台
処理済み	0台	2台	0台	50台	6台	58台
処理残	0台	0台	2台	0台	0台	2台

【処理実績及び処理予定】

平成28年度 1台（北海道1）
 平成29年度 1台（北海道1）
 平成30年度 56台（大阪2、東京50、北海道4）
 令和1年度 2台（豊田2）
 令和2年度

4. その他大型機器

現地現物確認により対象物を特定し、令和2年度までに処理完了予定。

	北九州	大阪	豊田	東京	北海道	合計
対象物	0台	1台	29台	4台	6台	40台
処理済み	0台	1台	19台	0台	5台	25台
処理残	0台	0台	10台	4台	1台	15台

【処理実績及び処理予定】

平成28年度 1台（北海道1台）
 平成29年度 2台（北海道2台）
 平成30年度 22台（大阪1台、豊田19台、北海道2台）
 令和1年度 15台（豊田10台、東京4台、北海道1台）
 令和2年度

5. 処理困難PCB油

現地現物確認により対象物を特定し、令和2年度までに処理完了予定。

	北九州	大阪	豊田	東京	北海道	合計
対象物	3件 4,025kg	24件 28,324kg	10件 106,198kg	5件 405,333kg	1件 93,000kg	43件 636,880kg
処理済み	3件 4,025kg	15件 26,134kg	1件 3,780kg	2件 25,128kg	0件 0kg	21件 59,067kg
処理残	0件 0kg	9件 2,190kg	9件 102,418kg	3件 380,205kg	1件 93,000kg	22件 577,813kg

【内訳】

(1) 低引火点成分混入PCB油

現地現物確認により対象物を特定し、令和2年度までに処理完了予定。

	北九州	大阪	豊田	東京	北海道	合計
対象物	3件 4,025kg	5件 813kg	4件 2,689kg	0件	0件	12件 7,527kg
処理済み	3件 4,025kg	0件 0kg	0件 0kg	0件	0件	3件 4,025kg
処理残	0件 0kg	5件 813kg	4件 2,689kg	0件 0kg	0件 0kg	9件 3,502kg

【処理実績及び処理予定】

平成29年度 1件 201kg（北九州1件201kg）
 平成30年度 2件 3,824kg（北九州2件3,824kg）
 令和1年度 9件 3,502kg（大阪5件813kg、豊田4件2,689kg）
 令和2年度

(2) その他夾雑物混入PCB油

現地現物確認により対象物を特定し、令和2年度までに処理完了予定。

	北九州	大阪	豊田	東京	北海道	合計
対象物	0件 0kg	19件 27,511kg	3件 13,749kg	4件 117,663kg	0件 0kg	26件 158,923kg
処理済み	0件 0kg	15件 26,134kg	1件 3,780kg	2件 25,128kg	0件 0kg	18件 55,042kg
処理残	0件 0kg	4件 1,377kg	2件 9,969kg	2件 92,535kg	0件 0kg	8件 103,881kg

【処理実績及び処理予定】

平成28年度	2台	1,065kg (大阪2件1,065kg)
平成29年度	6台	14,192kg (大阪5件5,792kg、東京1件8,400kg)
平成30年度	8台	37,585kg (大阪6件17,077kg、豊田1件3,780kg、東京1件16,728kg)
令和1年度	5台	11,010kg (大阪4件1,377kg、豊田1件9,633kg)
令和2年度	3台	92,870kg (豊田1件335kg、東京2件92,535kg)

(3) 特に対応が必要な夾雑物混入PCB油

現地現物確認により対象物を特定し、令和2年度までに処理完了予定。

	北九州	大阪	豊田	東京	北海道	合計
対象物	0件 0kg	0件 0kg	3件 89,760kg	1件 287,670kg	1件 93,000kg	5件 470,430kg
処理済み	0件 0kg	0件 0kg	0件 0kg	0件 0kg	0件 0kg	0件 0kg
処理残	0件 0kg	0件 0kg	3件 89,760kg	1件 287,670kg	1件 93,000kg	5件 470,430kg

① 豊田事業区域
進捗

PCB油にシリコンオイル及びトリクロロエチレンが混入。
H30年度から豊田事業所に試験搬入し試験処理に着手。
シリコンについては通常の反応時間に比べ時間を要するが処理できることは確認。
トリクロロエチレンについてはトリタビリティ試験で分解可能であることを確認後処理工程に投入し挙動を確認するための試験を実施。
今後は試験を繰り返し実施し、本格的処理に向けた最適な処理条件を決定。
R1年度から本格処理を開始しR2年度処理完了予定。

② 東京事業区域
進捗

PCB油にリン化合物が混入。
実証試験により加水分解により新成分を大幅に除去可能であることを確認。
H29年度に実証設備の設計・整備・実証試験を行い、試験結果を踏まえ、
H30年度に実機の設計・整備を実施。
R1年度から本格処理を開始しR3年度処理完了予定。

③ 北海道事業区域

石油系ワックス等の混入により低温度下で固化・結晶化。
H29年度の実証試験により北海道事業所で使用する溶剤NS230により溶解可能であることが判明。
事業所へはドラム缶に半量ずつ移送後搬入し事業所内で溶解し処理。
H30年度に試験搬入しトリタビリティ試験を行い本格搬入・処理に向けた検討を開始。
R1年度から本格処理を開始しR3年度処理完了予定。

6. コンクリート固化機器

現地現物確認により対象物を特定し、令和2年度までに処理完了予定。

	北九州	大阪	豊田	東京	北海道	合計
対象物	0台	60台	88台	38台	10台	196台
処理済み	0台	60台	50台	38台	7台	155台
処理残	0台	0台	38台	0台	3台	41台

【処理実績及び処理予定】

平成27年度 2台（北海道2台）
 平成28年度 11台（東京10台、北海道1台）
 平成29年度 84台（大阪60台、豊田22台、北海道2台）
 平成30年度 58台（豊田28台、東京28台、北海道2台）
 令和1年度 5台（豊田2台、北海道3台）
 令和2年度 36台（豊田36台）